

令和元年度

事業報告書

決算報告書

公益財団法人愛媛県総合保健協会

令和元年度 事業報告

目 次

総括	1 頁
地域住民の健康づくりサポート事業		
I 情報収集の実施	1 頁
1 巡回健診事業		
(1) 地域（住民）健診		
(2) 職域（事業所）健診		
(3) 学校健診		
2 施設健診事業		
(1) 人間ドック健診		
(2) 二次健診等保険診療		
II 情報分析及び提供	5 頁
1 情報分析の実施		
2 情報の提供		
III 情報発信の実施	9 頁
1 普及啓発事業		
(1) 地域（市町）への情報発信		
(2) 職域（事業所）への情報発信		
(3) 学校関係者、教育委員会への情報発信		
(4) 専門職（医療機関）への情報発信		
(5) 地域住民への情報発信		
2 生活改善事業		
生活環境の保全改善検査調査事業		
1 実施結果	19 頁
2 情報発信事業		
(1) パンフレットの作成、配布		
(2) 外部精度管理		
(3) 研修		
法人運営に関する事項		
I 役員会に関する事項	23 頁
1 監査		
2 理事会・評議員会		
II 表彰		
III 主な固定資産購入		

令和元年度事業報告

総括

令和元年度は、新公益法人制度による公益財団法人として7年目、また、内閣府所管団体として初年度となり、引き続き公益性の高い事業を行うこととし、地域住民の健康づくりサポート事業と生活環境の保全改善検査調査事業を二本柱に、事業の公益性や運営の透明性を一層意識して事業を推進した。

地域住民の健康づくりサポート事業については、2年目を迎えた市町を対象とする新しい受診勧奨事業に取り組み、所要の成果を挙げるほか、受診率の向上と受診者及び市町の利便性向上と省力化を図るため、日本で初めてとなるWEB健診予約に取り組み、八幡浜市及び西予市でモデル事業を実施した。これについては、良好な結果が得られ、2年度においては、多くの市町で本格的な実施が予定されている。

また、生活環境の保全改善検査調査事業についても、食品衛生事業に積極的に取り組むほか、各種啓発活動も引き続き実施した。

地域住民の健康づくりサポート事業

健やかな生活は、すべての地域住民の願いであり、健康を保持増進するためには疾病予防に関する正しい知識と信頼性の高い情報の発信が重要である。

このため当協会では、各種健康診断・検診による情報収集を行い、集まった情報を分析し、そこから得られた成果や課題を検討するなどして、情報の受け手ごとの有用な情報を提供するなど、地域住民の健康づくりサポート事業を推進した。

中でも、住民健診の受診率低迷に悩む市町に対し、新しい受診勧奨事業への取組みの継続を促進するほか、WEB健診予約事業の推進に努めた。

機器整備に関しては、婦人科内診台及び診察ユニット2台を更新したほか、画像精度向上のため、眼底カメラ（CR-2）を整備した。

胃がん検診では、28年度から本格実施している胃内視鏡検査の受診者拡大に努めるほか、人間ドックにおいては、令和元年度からNTTドックや関東IT健保ドックの受託、協会けんぽを対象とした「プライムドックコース」を設けるなど、ドック健診受診者数の増大を図った。

令和元年度に実施した事業は、次のとおりである。

I 情報収集の実施

生活習慣病、がん、結核及びその他の疾病の調査分析事業の基本となる情報収集について、実施主体である県下の市町や事業所からの委託を受けて健診（検診）を実施してデータを収集した。また、医療機関とも連携し、詳細な情報の収集を行った。このため最新の検診検査機器の整備に加え、検査に従事する職員の資質向上を図り、信頼性の高い情報を収集できるよう健診環境の充実にも努めた。

1 巡回健診事業

各市町、事業所、学校などへ検診車を巡回させ、受診者の要望を踏まえた身近な場所での健診（検診）を行った。

(1) 地域（住民）健診

県内 19 市町からの委託を受けて、県内各地を巡回し、地域住民を対象とした特定健康診査や各種がん検診を実施し、情報を収集した。

令和元年度事業計画に対する達成状況は後期高齢者健診、肝炎ウイルス検査、乳がんマンモグラフィ検診は計画を上回ったが、その他は計画を下回った。

前年度比較では、後期高齢者健診、肝炎ウイルス検査が増加し、肺がんCT検診、乳がんマンモグラフィ検診で微増、前立腺がん検診は横這いであった。また、特定健康診査、若年者対象の健康診査、特定保健指導、腹部超音波検診、骨粗鬆症検査、肺がんCR検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診は、前年度実績を下回った。

後期高齢者健診の増加要因としては、令和元年度に松山市が取組んだがん検診受診勧奨の効果によるものであり、乳がん検診は一部の市町が隔年受診の表年となったことによるものと考えている。また、特定健康診査、肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診の減少要因としては、受診勧奨未実施市町の影響や、僻地部における高齢化、過疎化による人口減少が考えられる。

また他の減少要因として、全国で発生した新型コロナウイルス感染症の影響による受診キャンセルや健診日程中止も大きく関係している。

子宮がん検診の減少要因としては、都市部における医療機関個別受診への移行及び、一部の市町が隔年受診の裏年となったものと考えている。

項目	区分	元年度 計画(人)	元年度 実績(人)	達成率 (%)	30年度 実績(人)	元/30 (%)
特定健康診査		29,000	28,193	97.2	29,484	95.6
後期高齢者健診		10,000	10,298	103.0	9,780	105.3
健康診査		2,600	2,293	88.2	2,364	97.0
特定保健指導	動機づけ支援	320	254	79.4	278	91.4
	積極的支援	40	35	87.5	36	97.2
肝炎ウイルス検査		3,000	3,280	109.3	2,939	111.6
腹部超音波検査		13,000	11,800	90.8	12,063	97.8
骨粗鬆症検査	超音波	5,500	4,912	89.3	5,106	96.2
肺がん検診	CR	34,000	33,421	98.3	34,948	95.6
	CT	5,600	5,501	98.2	5,434	101.2
胃がん検診	DR	23,200	22,724	97.9	23,838	95.3
大腸がん検診		40,000	39,264	98.2	40,642	96.6
子宮頸がん検診		19,000	18,472	97.2	19,749	93.5
乳がん検診	マンモグラフィ	18,000	18,528	102.9	18,320	101.1
	乳房超音波	1,700	1,675	98.5	1,599	104.8
前立腺がん検診		14,000	12,810	91.5	12,753	100.4

(2) 職域（事業所）健診

労働安全衛生法に基づき実施が義務付けられている健診で、県内各地の企業や団体などの事業所からの委託を受け、巡回訪問して実施したほか、受診者（働く人）の利便性を考慮（休日健診も実施）し、当協会施設でも実施した。

令和元年度事業計画に対する達成状況は、定期健康診断、特殊健康診断、乳がん検診を除く項目で計画数を上回った。

前年度実績との比較では、特定健康診査、乳がん検診を除く項目で上回った。定期健康診断、協会けんぽ健診、特殊健康診断の増加要因としては、東予地区大手企業の新規受託、及び市町等職員健診の新規受託によるものと考えている。また大腸がん検診、前立腺がん検診では、市教育委員会教職員向け受診啓発と勧奨実施の結果、全額自己負担検診として新規受託があり増加している。

なお、協会けんぽを利用した健診が可能な事業所については、利用を推進し、新たな受診者の掘り起こしに取り組んだことから実績も増加した。

乳がんマンモグラフィ検診は、大手企業等のがん検診が人間ドックへ移行されたことが要因となり巡回健診での受診者数減少となった。

ストレスチェックは、前年度実績比較で3.9%の増加となった。

項目	区分	元年度 計画 (人)	元年度 実績 (人)	達成率 (%)	30年度 実績 (人)	元/30 (%)
定期健康診断		70,000	67,491	96.4	63,991	105.5
協会けんぽ健診		13,750	14,987	109.0	13,875	108.0
特定健康診査		1,000	1,306	130.6	1,333	98.0
特定保健指導	動機づけ支援	130	340	261.5	253	134.4
	積極的支援	350	432	123.4	373	115.8
腹部超音波検査		3,350	4,018	119.9	3,799	105.8
特殊健康診断		24,800	23,627	95.3	21,918	107.8
腸内細菌検査		7,500	7,968	106.2	7,453	106.9
結核検診	CR	71,900	92,689	128.9	89,829	103.2
肺がん検診	CR	11,240	13,270	118.1	12,507	106.1
	CT	450	482	107.1	470	102.6
胃がん検診	DR	15,250	20,262	132.9	19,252	105.2
大腸がん検診		16,200	26,939	166.3	24,781	108.7
子宮頸がん検診	頸部細胞診	2,900	3,454	119.1	3,411	101.3
乳がん検診	マンモグラフィ	3,400	3,269	96.1	3,458	94.5
	乳房超音波	1,800	1,496	83.1	1,874	79.8
前立腺がん検診	PSA検査	3,100	3,104	100.1	3,010	103.1
ストレスチェック		25,000	28,996	116.0	27,907	103.9

(3) 学校健診

市町の教育委員会等からの委託を受け、学校保健安全法に基づく健診をはじめ、小児生活習慣病予防健診などを県内全域に出向いて実施し、健診データを収集した。

令和元年度事業計画に対しての実施率は、寄生虫検査を除き、ほぼ計画を達成した。しかし、実績の前年度比は、少子化の影響や私立学校・県立学校の他健診機関との競合を受け、小児生活習慣病予防健診を除く項目において減少した。

また、寄生虫検査の大幅な減少は、学校保健安全法施行規則の一部改正により、必須項目から削除された影響が続いている。

項目	区分	元年度 計画 (人)	元年度 実績 (人)	達成率 (%)	30年度 実績 (人)	元/30 (%)
結核検診	CR	8,250	8,879	107.6	10,156	87.4
心臓検診	小・中・高・特殊	27,900	28,625	102.6	29,807	96.0
貧血検査	小・中・高・大・特殊	15,040	16,412	109.1	17,404	94.3
脊柱側わん症検査	小・中	20,500	20,849	101.7	20,862	99.9
尿検査	保幼・小・中・高・特殊	93,400	94,457	101.1	100,303	94.2
寄生虫検査(糞便)	保幼・小・中・特殊	1,260	1,229	97.5	1,460	84.2
寄生虫検査(蟯虫)	保幼・小・中・特殊	1,970	1,626	82.5	6,066	26.8
小児生活習慣病予防健診	小・中	19,000	20,164	106.1	19,794	101.9

2 施設健診事業

本所施設では、各種健診検査機器を整備し、これまで以上に働く人(受診者)の利便性を考慮して、休日健診体制を整備実施した。このほか、診療所での人間ドックや労災二次健診を行った。

(1) 人間ドック健診

公務員共済や各種健康保険組合からの委託を受け、生活習慣病予防健診やがん検診に加え、保健指導、栄養指導もセットにした健診を「人間ドック」として実施し、データを収集した。

ドック健診は、一般的標準健診検査のほか、レディースコース、エグゼクティブコース、セレブリティコース及び新しく協会けんぽ加入者を対象としたプライムドックコースを設けるなど、受診者のニーズに即した健診を行った。

ドック受診者数については、近年、受診者数の約6割を占めている共済等の組合員数の減少の影響を懸念しているところであるが、令和元年度の実績は、計画の5,200名に対し、大手事業所の受託及びプライムドックコースの新設等により、実績が5,482名で目標を上回り、前年度比9.9%の増加となった。

人間ドック健診 区 分	元 年 度 計画(人)	元 年 度 実績(人)	達 成 率 (%)	30 年 度 実績(人)	元 / 30 (%)
基本コース	2,550	2,802	109.9	2,574	108.9
レディースコース	2,150	1,993	92.7	1,983	100.5
セレブリティコース	150	178	118.7	189	94.2
エグゼクティブコース	150	298	198.7	240	124.2
プライムドックコース	200	211	105.5	—	—
合 計	5,200	5,482	105.4	4,986	109.9

(2) その他ドック

松山市笑顔ドック健診 276人(30年度248人)
東温市いのとんどック健診 41人(30年度34人)

(3) 二次健診等保険診療

主として学童検診心電図検査及び労災保険制度の二次健診機関として、また、結核指定医療機関としての医療を行うための保険診療業務を行った。

保険診療による受診者数 延べ 734人(平成30年度 762人)

労働者災害補償保険法に基づく二次健康診断対象受診者数

延べ 320人(平成30年度 288人)

船員保険生活習慣病予防健診における受診者数

延べ 128人(平成30年度 103人)

II 情報分析及び提供

1 情報分析の実施

各分野の医師、専門技師が中心になって、地域(住民)健診、事業所(職域)健診、学校健診、人間ドック健診などで収集したデータに加え、過去に収集したデータと比較し、経年経緯を分析するとともに、地域別、年齢別、性別等で比較するなどの方法により、地域や職域における疾病等の傾向を分析した。

また、委託元である市町、学校、事業所等のユーザーからの要望を受け、ユーザーに役立ててもらうための分析を行い、分析結果は、委託元のユーザーのほか、全国団体や県、市町などの行政機関、医療機関へ提供し、公衆衛生向上の基礎資料として活用した。

がん検診データの分析にあつては、特に要精密検査と判定された方の追跡調査及び受診勧奨を行い、精密検査未受診者の減少に向けた取り組みを強化した。

2 情報の提供

(1) 全国団体への提供

公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会、公益財団法人予防医学事業中央会を通じて、国の健康づくり施策の基礎資料とするため、データを提供した。

(2) 愛媛県への提供

当協会が実施した健診(検診)結果のデータは、愛媛県生活習慣病予防協議会へ提供するほか、行政における公衆衛生施策に活かすための基礎資料として提供した。

(3) 学会等での発表講演

各種学会、研究会、セミナー等へ職員を積極的に派遣し、意見交換や相互交流を通じて健診（検診）技術の向上に努めるとともに、収集分析したデータをもとに発表又は講演するなど、検診技術の向上に努めた。

各種学会等での発表、論文の投稿及び研修の主な内容は、次のとおりであった。

①各種学会等での報告

学会等名称	実施日	発表内容	主催団体	発表(報告)者
第75回日本放射線技術学会総会学術大会	4月11日 (横浜市)	冠動脈石灰化発現と生活習慣病との関連～低線量胸部CTによる評価(人間ドック)～	日本放射線技術学会	上田章仁、玉井嵩留、高岡美咲、小川奈桜、川上壽昭、長尾充展 (東京女子医科大学)
第15回中国四国放射線医療技術フォーラム	9月21日 (高知市)	乳房構成から見た検診発見乳がんの検討	診療放射線技術学会中国四国部会	小川奈桜、井上裕美、佐伯えみ、馬場沙織、小野池裕美子、小山恵理子、天野夢美、江里口美江、栄浩司、最上博、川上壽昭
		胃粘膜萎縮の各世代の現状について		宮野浩、上田章仁、玉井嵩留、宮本修治、石水敦史、大西弘高、井上裕美、川上壽昭、北井浩一朗
第13回愛媛県診療放射線技師技術大会	12月7日 (松山市)	胃粘膜萎縮の各世代の現状について	愛媛県診療放射線技師会	宮野浩、上田章仁、玉井嵩留、宮本修治、石水敦史、大西弘高、井上裕美、川上壽昭、北井浩一朗
第54回予防医学技術研究会議	2月26日 ～28日 (盛岡市)	予防医学事業推進中国・四国地区会議技術部門報告	予防医学事業中央会	首藤隆
		胃粘膜萎縮の各世代の現状について		宮野浩、上田章仁、玉井嵩留、宮本修治、石水敦史、大西弘高、井上裕美、川上壽昭、北井浩一朗
		胸部検診におけるCALNEO Dual(1shot エネルギーサブトラクション装置)の検診効率について		小野池裕美子、宮野浩、荒川憲二、玉井嵩留、大西弘高、井上裕美、最上博、川上壽昭

②論文・雑誌等への投稿

著書・学術論文等	掲載雑誌の名称及び発行年月日	発表者
該当なし	—	—

③研修

職員の資質の向上を図るため、各種の研究集会・学会等に派遣した。

ア 県外関係では、64回131名を派遣した。主なものは、次のとおりであった。

開催日	場 所	研修会・学会等	参加者
4.11～4.13	横浜市	第75回日本放射線技術学会総会学術大会	5
4.11～4.14	横浜市	第78回日本医学放射線学会総会	1
4.12～4.14	東京都	第59回日本呼吸器学会学術講演会	1
4.27～4.29	名古屋市	第30回日本医学学会総会2019中部	1
4.28～4.29	横浜市	第44回日本超音波検査学会学術集会	1
5.24～5.26	東京都	日本超音波医学会第92回学術集会	1
6.6～6.7	仙台市	日本老年医学会学術集会	2
6.7～6.8	岡山市	第58回日本消化器がん検診学会総会	1
6.8～6.9	東京都	第60回日本臨床細胞学会春季大会	3
7.2	東京都	日本対がん協会2019年度全国事務局長会議	3
7.10	東京都	予防医学事業中央会平成30年度第1回運営会議	2
7.17～7.19	東京都	国際モダンホスピタルショー2019	3
7.25～7.26	岡山市	第60回人間ドック学会学術大会	9
8.29～8.30	宇都宮市	第37回全国情報統計研修会	1
9.27～9.29	仙台市	第59回日本臨床化学会年次学術集会	1
10.17～10.19	大阪市	第47回日本放射線技術学会秋季学術大会	1
10.18～10.20	名古屋市	第9回日本認知症予防学会学術集会	1
10.26	大阪市	日本超音波医学会 第46回関西地方学術集会	1
11.1	高松市	令和元年度結核予防会・日本対がん協会中国・四国ブロック会議	2
11.7	松江市	令和元年度予防医学事業推進中国・四国地区会議	3
11.8	福井市	第29回日本乳癌検診学会	3
11.16～11.17	岡山市	第58回日本臨床細胞学会秋期大会	2
11.21～11.22	高松市	第64回予防医学事業推進全国大会	2
11.21～11.24	千葉市	第39回医療情報学連合大会	4
12.7～12.8	高知市	第50回日本消化器がん検診学会中四国地方会	5
1.28～1.31	東京都	令和元年度結核予防会事業協議会研修会ほか	3
2.6～2.7	前橋市	令和元年度予防医学事業中央会全国業務研修会	2
2.7～2.8	東京都	第48回日本総合健診医学会	3
2.7～2.8	東京都	第27回日本CT健診学会学術集会	2
2.14～2.15	横浜市	第35回日本環境感染学会総会・学術集会	1

2.14～ 2.15	東京都	第39回日本画像医学会	1
2.27～ 2.28	盛岡市	第54回全国予防医学技術研究会	8

事業推進・運営に関する講座等参加及び派遣

県外で開催された講座等に4回、7名を派遣した。

開催日	場 所	事業推進・運営関連講座等	参加者
8.22	東京都	SMBCビジネスセミナー 「人と組織を活かす現場の「上司力」」	1
8.26	東京都	SMBCビジネスセミナー「ロジカル・ラテラル・クリティカルシンキングを鍛える」	2
9.27	東京都	全国公益法人協会セミナー 「公益・一般法人経理担当者のための年末調整入門」	2
12.12	高松市	公益・一般法人定例講座	2

イ 県内開催には、12回 44名を派遣した。主なものは、次のとおりであった。

研修会・講習会・学会等	実施日	実施場所	主催者	参加数
第14回家族性腫瘍セミナー	8月23日	四国がんセンター	四国がんセンター患者・家族総合支援センター	1
第24回日本小児心電学会学術集会	11月29日～30日	リジェール松山	日本小児心電学会	3
IRCビジネスセミナー（働き方改革を支える 事務担当者のための時短&改善セミナー）	1月21日	伊予銀行本店	いよぎん地域経済研究センター	1
第28回愛媛県臨床細胞学会総会ならびに学術総会	1月26日	県立中央病院	病理・細胞診従事者	11
愛媛県地域保健研究集会	1月30日	総合社会福祉会館	愛媛県保健所	5
四国がんセンター乳房超音波検査見学研修	2月1日～4月10日	四国がんセンター検査科	検査科担当者	5
IRCビジネスセミナー（管理職のための判断力強化研修）	2月5日	伊予銀行本店	いよぎん地域経済研究センター	1
IRCビジネスセミナー（お客様の心をつかむ！「雑談力・傾聴力」）	2月13日	伊予銀行本店	いよぎん地域経済研究センター	1
IRCビジネスセミナー（経理担当者の役割と求められるスキル・業務の進め方）	2月17日	伊予銀行本店	いよぎん地域経済研究センター	1
乳がん予防対策講習会	2月22日	愛媛県医師会館	愛媛県生活習慣病予防協議会乳がん部会	9

ウ 協会内部研修

協会内部における研修は、7回開催し、延べ622名が参加した。主なものは、次のとおりであった。

年月日	行事等の内容	参加者数
4月 1日	新人職員研修「協会組織、事業概要、職員としての心構え、QMS・PMSの基礎知識等について」	9
6月 3日	新人職員研修「協会組織、事業概要、職員としての心構え、QMS・PMSの基礎知識等について」	2
12月11日 12月20日 1月23日 1月29日	ブランド力向上研修（基礎編）	219
2月14日	PMS研修会	116
2月26日 2月28日	ブランド力向上研修（応用編）	130
3月24日	巡回検診部パート職員研修会	100
3月30日	南予支所パート職員研修会（接遇・マナーアップ、特定検診等問診研修、新人パート職員検査実習）	46

Ⅲ 情報発信の実施

1 普及啓発事業

(1) 地域（住民）、市町への情報発信

当協会が実施した健診（検診）検査から得られた分析データを、県及び市町の健康づくり施策に生かすための基礎資料として提供した。このほか市町と連携して、また、当協会が主催するなどにより講習会等へ医師や専門職員等を講師として派遣し、住民の健康教育などの施策に協力した。さらに、特定健診、がん検診、保健指導の受診率向上のため、市町と連携してチラシを作成配布し、啓発に取り組んだ。

① 講演会、研修会の開催

実施日	主催	実施場所	開催内容	参加対象者
8月23日	協会	松山市 (協会)	特定健康診査受診勧奨事業結果報告会 ・報告 「平成30年度事業結果報告」 株式会社キャンサーズキャン ・情報提供 「ICTを活用した特定健診予約システム 事業について」 愛媛県保健福祉部 社会福祉医療局医療保険課職員	県下市町国 保・衛生担当 者等48名

2月18日	協会	松山市 (協会)	第2回健康経営セミナー ・情報提供 「健康経営イキイキと働ける職場環境」 経営企画課 課長補佐 元木伸也 ・講演 「改正健康増進法と新型タバコについて」 NPO法人禁煙推進の会えひめ 会長 松岡 宏 (愛媛県立中央病院 医局長) ・講演 「肺がん検診について」 診療所副所長 最上 博	企業・健康保険組合等健康管理担当者 38名
-------	----	-------------	---	-----------------------

②講師の派遣

実施日	研修会・講演会名称	演題名・内容	主催団体名(会場等)	派遣者	参加対象者
9月26日	愛媛県結核対策研修会	高齢者と結核感染対策	宇和島保健所 (宇和島市医師会館)	診療所長 西村一孝	宇和島保健所管内医療関係医師及び医療従事者等
1月30日	地域保健研究集会	ナッジ理論で伸ばす愛媛県の健康寿命	愛媛県(県総合社会福祉会館)	経営企画部 元木伸也	県内保健福祉関係者等

(2) 職域(事業所)への情報発信

健診(検査)等から得られる情報を産業医や保健師に提供し、職場における健康管理が適切に行えるよう支援するほか、「えひめ健康だより」等のパンフレットやリーフレットを定期的に配布し、情報提供を行った。

・講師を派遣した研修会等は、該当がなかった。

実施日	研修会・講演会名称	演題名・内容	主催団体名(会場等)	派遣者	参加対象者
該当なし	—	—	—	—	—

(3) 学校関係者、教育委員会への情報発信

小児生活習慣病予防健診をはじめ学校保健法に基づく健診を実施し、集めたデータをもとに研修会を開催するとともに、関係機関を訪問し、分析データをわかりやすく説明し、児童・生徒一人ひとりに合った質の高い健康教育ができるよう支援を行った。

このほか、健康教育の一環として大学からの要請を受け、職員を派遣し、啓発活動を実施した。

実施日	主催	実施場所	開催内容	参加者
12月3日	協会	宇和島市 (総合福祉センター)	学校保健事業に係る南予地区研修会 ・報告 「南予地域における学校尿検査の状況」 第4報 学校検尿二次検査(元年)を終えて 南予支所事業推進課 笹川 恵子 ・演題1 「小児生活習慣病と2型糖尿病について」 愛媛県立新居浜病院 副院長 竹本 幸司 ・演題2 「子宮頸がん予防ワクチン接種の効果と副反応について」 愛媛大学大学院医学系研究科 病因・病態領域産科婦人科学講座 准教授 藤岡 徹	学校保健事業関係者 120名

・講師等を派遣した研修会等は、次のとおりであった。

実施日	研修会・講演会名称	演題名・内容	学校名	派遣者	参加者数
7月1日	がん予防重点健康教育	「がんの予防と早期発見等について」 松山市がん予防重点教育の一環	河原医療 大学校	アドバイザー 深田 千尋	歯科衛生学科 約40名

・施設見学等により協会を訪問した学校は、次のとおりであった。

訪問先等	実施日	内容	参加者数
愛媛県立医療技術大学	2月17日 ～21日	臨地実習 予防医学分野での健診・検査の実地研修 (健診・細菌検査・病理細胞診)	臨床検査学科 11名

(4) 専門職（医療関係者）への情報発信

県内の有識者で構成する協会内部の精度管理委員会、愛媛県生活習慣病予防協議会の各種部会、それぞれの専門医・技師で構成される各種症例検討会（胃がん検診、乳がん検診）や各関連学会で情報を発信することにより、医師や放射線技師等の資質向上に取り組んだ。

① 内部精度管理委員会

各種がん検診及び循環器健診精度管理委員会を開催し、検診精度の向上策や受診率の向上問題などについて討議を行った。

実施日	精度管理委員会名	議 題
10月31日	乳がん検診精度管理委員会	乳がん検診実績報告と検診精度向上に向けての今後の取組み
11月12日	胃がん検診精度管理委員会	胃がん検診実績報告と検診精度向上に向けての今後の取組み
11月26日	大腸がん検診精度管理委員会	大腸がん検診実績報告と検診精度向上に向けての今後の取組み
2月 3日	子宮がん検診精度管理委員会	子宮がん検診実績報告と検診精度向上に向けての今後の取組み
2月17日	肺がん検診精度管理委員会	肺がん検診実績報告と検診精度向上に向けての今後の取組み
3月17日	循環器検診精度管理委員会 (資料配布により実施)	循環器検診実績報告と検診精度向上に向けての今後の取組み

②外部精度管理

関係機関が実施する精度管理調査等を受け、また、各団体が主催する精度管理事業にも積極的に参加した。

ア 愛媛県内関係

実施日	精度管理委員会名	議 題 ・ 内 容
9月17日	愛媛県臨床検査技師会精度管理調査	血液・血清・生化学・血糖・一般・微生物
9月17日	愛媛県臨床検査技師会精度管理調査	細胞フォトサーベイ
2月25日	愛媛県生活習慣病予防協議会 消化器がん部会実地調査	消化器がん検診の実施状況及び課題等 ① 胃がん検診、大腸がん検診実施状況 ② その他（受診率、精密検査受診率等）

イ 全国関係

- 日臨技臨床検査精度管理調査（日本臨床検査技師会主催）
血液・血清・生化学・血糖・一般
- 令和元年度日臨技精度管理調査（日本臨床検査技師会主催）
細胞フォトサーベイ
- 臨床検査精度管理調査（日本医師会主催） 血液・血清・生化学・血糖・一般
- 令和元年度健診・検査データ共有化事業（予防医学事業中央会主催）
生化学・血糖
- CDC/CRMLN 脂質標準化（国立循環器病研究センター主催）
LLDL-C・HDL-C・T-CHO・中性脂肪（TG）
- 令和元年度コントロールサーベイ（日本臨床細胞学会主催）
バーチャルスライドによる細胞フォトサーベイ

ウ 各種症例検討会

がん等の症例検討会に参加し、検診技術の向上に努めた。

症例検討会	実施日	実施場所	参加者数	備考
細胞診症例検討会	4月～3月 (月4回)	総合保健協会	12	細胞検査士・臨床検査技師

(5) 地域住民への情報発信

すべての地域住民の願いである「健やかな生活」をサポートするため、その意識向上に向けた啓発活動を実施した。

① 講演会の開催、各種行事への講師派遣、イベント等における啓発活動

健康保持増進について地域住民の意識向上に向けた啓発活動を実施した。

講師を派遣した講演会、研修会等については、Ⅲ-1 普及啓発事業の各事項に記載のとおり実施している。

イベント等に参加し、啓発活動を行った状況は次のとおりであった。

イベント等における啓発活動

イベント名	主催者	実施日	実施場所	内容(参加者)
LOVE49 キャンペーン	愛媛県細胞検査士会	4月14日	いよてつ高島屋前広場(松山市)	ニュースレター含む資料配布
はまぼん健康塾	八幡浜市	8月26日 9月7日 10月2日	八幡浜市健康スポーツセンター	パネル展示・血管年齢測定
内子町健康まつり2019	内子町	9月7日	五十崎自治センター	パネル展示・血管年齢測定・乳がん触診模型体験
第43回四国地区信用金庫バレーボール大会	四国地区信用金庫健康保険組合	9月21日	松山市総合コミュニティセンター	血管年齢測定・血圧測定・健康相談
東温市健康フォーラム2019	東温市	9月29日	東温市中央公民館(東温市)	パネル展示・血管年齢測定・乳がん触診模型体験
リレーフォーライフ・ジャパン2019 in えひめ	リレー・フォーライフ・ジャパンえひめ実行委員会	10月5日～6日	城山公園(松山市)	協会からは、約90名が参加
第16回四国中央市健康まつり	四国中央市	10月5日	四国中央市保健センター(四国中央市)	パネル展示・乳がん触診模型体験・特定健診・がん検診(肺・胃・大腸・子宮・マンモ・乳房超音波・前立腺)・骨粗鬆症検査・肝炎検査を実施

第24回生き生き幸せフェスティバル	新居浜市社会福祉協議会	10月6日	新居浜市総合福祉センター (新居浜市)	婦人がんパネル展示・リーフレット配布
がん検診受診率向上キャンペーン	愛媛県	10月20日	いよてつ高島屋前 坊ちゃん広場	がんについてのクイズラリー・ちらし配布・みきちゃんによる普及啓発
第11回はかた社協まつり(出前健康ひろば)	今治市社会福祉協議会伯方支部 はかた社協まつり実行委員会	10月27日	伯方福祉センター (今治市)	血管年齢測定・乳がん触診模型体験・子宮頸がん細胞像の顕微鏡体験
えひめ・まつやま産業まつり「すごいもの博2019」	えひめ・まつやま産業まつり実行委員会、愛媛県、松山市	11月16日 ～17日	城山公園 (松山市)	愛媛県厚生連との共同出展(がん予防パネル展示・乳がん触診模型体験・血管年齢(協会)・脳年齢チェック(厚生連))
愛南町生き生き推進大会	愛南町	12月1日	御荘文化センター	パネル展示・血管年齢測定・乳がん触診模型体験

②がん征圧運動の実施

9月の「がん征圧月間」、10月の「乳がん月間」には、公益財団法人日本対がん協会グループの一員(支部)として、全国の各県支部と呼応し、がんとその予防についての正しい知識と早期発見・早期治療の啓発活動に取り組むほか、期間中、がん募金事業を実施した。

がん征圧月間運動 令和元年 9月1日～9月30日

乳がん月間運動 令和元年 10月1日～10月31日

令和元年度がん募金 募金額 1,641,763円

また、9月13日には、全国各地及び県内参加者等約1,300名の参加を得て、「2019年度がん征圧全国大会(愛媛大会)」を松山市で開催した。

2019年度がん征圧全国大会の概要

開催日・場所	開催行事及び内容
9月12日 ANAクラウンプラザホテル松山	<p>○がん検診セミナー</p> <ol style="list-style-type: none"> 「子宮がんで悲しむ人をなくすために」 講師：黒川哲司 福井大学医学部准教授(産科婦人科) 「要精検2%の背景～乳がん検診の精度管理の一考察」 講師：最上 博 愛媛県総合保健協会副診療所長 「わが国のがん検診最大の課題・低迷する受診率アップへの挑戦」 講師：福吉 潤 (株)キャンサーズキャン社長 <p>○スイーツセミナー 「クラウド型予約情報一元化システムの開発」</p>

	○ 支部長会議 ○ シンポジウム 「血液検査でがんを見分ける～変貌するがん検診の将来」 講師：落合孝広 東京医科大学医学総合研究所教授 講師：本田一文 国立がん研究センター研究所早期診断バイオマーカー開発部門ユニット長 講師：江波武志 厚生労働省健康局がん・疾病対策課長 ○ 歓迎レセプション
9月13日 松山市民会館 大ホール	○ 全国大会 開会のことば 久野梧郎 愛媛県総合保健協会理事長 挨拶 垣添忠生 日本対がん協会会長 祝辞 厚生労働大臣・日本医師会会長・愛媛県知事・松山市長 表彰 朝日がん大賞・日本対がん協会賞・永年勤続表彰・がん征圧スローガン入選者表彰 記念講演 なかにし礼（作家・作詞家） 愛媛県アピール 医療技術大学学生 次期開催県あいさつ 楠元志都生 宮崎県健康づくり協会理事長

このほか、啓発広告の掲載やポスターを関係機関に配布して掲示を依頼するとともに、JR四国及び伊予鉄道主要駅構内への掲示やデパートでの懸垂幕の設置などを行った。

媒体名	報道・掲載日	タイトル	内 容	備 考
毎日新聞	8月23日	令和元年度がん征圧月間	がん検診あなたを守る新習慣	愛媛県下
愛媛新聞	10月6日	10月は乳がん月間	がん検診あなたを守る新習慣	愛媛県下
いよてつ 高島屋	9月1日 ～30日	がん征圧月間	懸垂幕	松山地域
伊予鉄道	9月1日 ～28日	がん征圧月間	駅構内ポスター掲示	伊予鉄道 5 駅
JR 四国	9月4日 ～10月1日	がん征圧月間	駅構内ポスター掲示	愛媛県下 5 駅
県広報紙	9月号	がん征圧月間	がん検診あなたを守る新習慣	愛媛県下
愛媛県庁 ロビー展	9月30日 ～10月4日	乳がん月間	パネル・ピンクリボンツリー展示、リーフレット設置	松山地域

③結核予防運動の実施

「結核予防週間」（9月24日～30日）に合わせ、公益財団法人結核予防会グループの一員（支部）として、全国の各県支部と呼応して、結核とその予防についての正しい知識と早期発見・早期治療の普及啓発活動を実施したほか、複十字シール募金運動（8月1日～

12月31日)に参加して、結核予防活動の資金造成にも協力した。

令和元年度複十字シール募金 募金額 3,455,963円

イベント名	実施日	主催者・実施者	実施場所	内容(参加者)
知事表敬訪問	9月11日	理事長・愛媛県結核予防連合婦人会	県庁(松山市)	啓発グッズ持参・懇談(副知事対応)
複十字シール運動街頭募金	9月17日	結核予防会 愛媛県結核予防連合婦人会	いよてつ高島屋前(松山市)	募金及び啓発活動

④ピンクリボンえひめ協議会との連携

平成20年度に設立されたピンクリボンえひめ協議会に協力・支援して、乳がんに対する正しい知識の普及活動を行った。令和元年度は、例年どおり多くのイベントに参加し、パネル展示やパンフレットの配布など啓発活動を実施した。

主な事業は、次のとおりであった。

イベント名	主催者	実施日	実施場所	内容(参加者)
がん予防重点健康教育	松山市	7月1日	河原医療大学校(松山市)	講演・乳がん触診模型体験・啓発冊子配布等
健康フェスタ in えひめ 2019	レディ薬局主催 南海放送共催	7月6日 ～7日	アイテムえひめ(松山市)	パネル・ピンクリボンツリー展示、乳がん触診模型体験、募金活動、乳がん検診(乳房超音波検診18名)、血管年齢測定170名
リレーフォーライフ・ジャパン 2019 in えひめ	リレー・フォー・ライフ・ジャパン えひめ実行委員会	10月5日 ～6日	城山公園(松山市)	協会から約90名が参加 ピンクリボンえひめ協議会後援
ひめ博 2019	ひめ博 2019 実行委員会	10月26日	松山市総合コミュニティセンター(松山市)	パネル・ピンクリボンツリー展示、乳がん触診模型体験、血管年齢測定、募金活動、啓発冊子配布等
リビング KID`S フェスタ	えひめリビング新聞社	10月26日 ～27日	エミフルMASAKI(松前町)	パネル・ピンクリボンツリー展示、乳がん触診模型体験、募金活動、啓発冊子配布等
えひめ・まつやま産業まつり すごいもの博 2019	えひめ・松山産業まつり実行委員会	11月16日 ～17日	城山公園(松山市)	パネル展示、乳がん触診模型体験、啓発冊子配布、血管年齢測定、脳年齢測定

⑤予防医学運動の実施

公益財団法人予防医学事業中央会グループの一員(支部)として、生活習慣病予防の

ための知識の普及啓発活動（パンフレット、チラシ等の配布）を実施し、予防医学活動に取り組んだ。

また、盛岡市で開催された第 54 回予防医学技術研究会議に参加し、協会における健診検査の状況を発表するなど、積極的な情報提供を行った。

⑥ 広報誌等による情報発信

広報誌「えひめ健康だより」の発行や各種検診の有効性に関するチラシ、生活環境の保全改善に関するパンフレット等を作成配布し、地域住民の公衆衛生の向上に向けた啓発活動を実施した。

○ 協会ホームページからの情報発信

協会が発行する広報誌「えひめ健康だより」や事業年報を掲載したほか、事業概要や最新のがん情報及び協会が主催、共催するセミナーなどの開催情報等を掲示し、地域住民の健康への関心を高める取り組みを行った。

○ マスメディアを利用した情報発信

新聞等を活用し、がん征圧月間、乳がん月間などの告知や当協会が主催、後援、参加する研修会、イベントなどの開催情報を発信したほか、健診（検査）受診勧奨情報や各種健康情報を提供し、啓発に努めた。

元年度に実施した情報発信は、次のとおりであった。

媒体名	報道・掲載日	タイトル及び内容
7月29日発行週刊 愛媛経済レポート	愛媛からがん検診の重要性を発信 がん征圧への取り組みを強化	がん征圧全国大会が愛媛で開催 公益財団法人 日本対がん協会の設立について 愛媛県総合保健協会の取り組みについて
愛媛新聞	10月6日	「10月は乳がん月間」検診啓発広告「がん検診あなたを守る新習慣」

○ パンフレット、冊子、チラシによる情報発信

日本対がん協会と連携して、生活習慣病の予防や「乳がん」、「がん検診」等の啓発情報を盛り込んだパンフレットを配布するとともに、広報誌「えひめ健康だより」を発行・配布し、広く知識の普及に努めた。

パンフレット、チラシ作成配布の主なものは、次のとおりであった。

パンフレット等の名称	作成又は配布部数(発行回数)
えひめ健康だより	4,500部(3回)
乳がんのセルフチェック(対がん協会)	6,500部
がん検診(対がん協会)	3,500部
がん読本	2,000部
パンフレット「結核の常識2019」(結核予防会)	2,400部
複十字誌(結核予防会)	1,200部

健康の輪（結核予防会）	1,920部
対がん協会報（対がん協会）	4,920部
予防医学ジャーナル（予防医学事業中央会）	318部
結核予防週間ポスター（結核予防会）	2,300枚
がん征圧月間ポスター（対がん協会）	350枚
禁煙ポスター（対がん協会）	350枚
禁煙ポスター（結核予防会）	200枚

新聞折り込み等チラシによる広報宣伝は、次のとおりであった。

媒体名	報道・掲載日	タイトル	内容	備考
新聞折り込みチラシ	4月16日	砥部町集団健診受診案内	受診勧奨広告 全紙	砥部町 6,220部
	5月8日			砥部町 6,420部
新聞折り込みチラシ	7月29日	宇和島市集団健診受診案内	受診勧奨広告 全紙	宇和島市 24,010部
	10月23日			宇和島市 18,500部
新聞折り込みチラシ	11月26日	東温市集団健診受診案内	受診勧奨広告 全紙	東温市 10,000部
フリーマガジン「ふあぶーる」	9月20日	西条市集団健診受診案内	受診勧奨広告	西条市 42,000部
新聞折り込みチラシ	10月20日	西条市集団健診受診案内	受診勧奨広告 愛媛新聞	西条市 35,190部

後援等による啓発、活動支援は、次のとおりであった。

後援行事名	主催者	開催日	実施場所	行事内容
リレーフォーライフ・ジャパン 2019 in えひめ	リレー・フォー・ライフ・ジャパン えひめ実行委員会	10月5日 ～6日	松山市 (城山公園)	(命のリレー) がん患者や家族、その支援者たちがチームを組んで交代で夜を超えて歩き、絆を深めあう催し

2 生活改善事業

(1) 特定保健指導

特定健診受診者全員に、健診結果とともに、健康の維持改善に向けたアドバイスなど情報提供を行った。

また、特定健診の結果により、動機づけ支援レベル及び積極的支援レベルに選定された者に対しては、生活習慣の改善に向けてきめ細かな生活改善指導を行った。

動機づけ支援 594名 (平成30年度 531名)

積極的支援 467名 (平成30年度 409名)

(2) 生活習慣の改善指導

人間ドック受診者については、生活習慣改善のための情報提供を行うとともに、健診受診後対策を含めた健康づくりのアドバイスを行った。

実施者 5,482名 (平成30年度 4,986名)

生活環境の保全改善検査調査事業

令和元年度も引き続き、飲料水、簡易専用水道、河川・海域、土壌、廃棄物、大気、食品等の生活環境全般に対して、県下全 20 市町、事業所及び個人から委託を受け、それぞれ水道法、学校保健安全法、水質汚濁防止法、環境基本法、下水道法、土壌汚染対策法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大気汚染防止法、悪臭防止法、食品衛生法等に基づく検査調査を実施し、市町など委託先に対し、検査調査結果データを提供した。

分析結果は、当協会の広報誌「えひめ健康だより」やホームページに掲載するなど、県民の生活環境に対する意識向上のための啓発活動を行った。

機器整備に関しては、分析機器では高額な設備投資は行っていないが、windows7 の更新サポート終了に伴い、環境部で使用しているパソコン 18 台（ソフト、ライセンスを含む）の一式購入を行い、環境検査システムについても顧客管理、見積書作成、報告書・請求書の作成等のほとんどの業務工程で使用するシステムを windows10 に対応できるものを購入することにより、信頼性の高い業務が行える体制を整えた。

I 検査調査事業の実施結果

令和元年度の検査件数は、特殊検査以外の項目は計画を上回った。また、平成 30 年度実績に対しては、大気検査を除く項目で増加した。

飲料水検査では、プール水の検査業務を新たに受注したため件数が増加し、特殊検査では、土壌検査の検査業務をまとめて受注できたため、受注件数は増加した。

食品衛生検査は、食品衛生法に基づく製品検査については、平成 21 年度に登録をして以来実績はないものの、厨房の衛生点検業務を新たに受注し、受注件数は増加した。なお、この生活環境に関する検査事業は、同業他社との競合も激しく、依然厳しい結果となっている。

検査項目及び検査件数

検査項目	元年度 計画(件)	元年度 実績(件)	達成率 (%)	30年度 実績(件)	元/30(%) 実績対比
飲料水検査	6,200	7,075	114.1	6,545	108.1
水質検査	4,500	5,990	133.1	5,962	100.5
特殊検査	1,100	1,004	91.3	940	106.8
大気検査	770	795	103.2	799	99.5
簡易専用水道検査	1,300	1,331	102.4	1,308	101.8
騒音測定	100	136	136.0	125	108.8
食品衛生検査	800	1,043	130.4	1,022	102.1

II 情報発信事業

1 県民への情報発信

ここ数年実施していた食品の安全・環境衛生に関する検査実習はコロナウイルスの影響により中止となったが、4年ほど継続して参加している松山市主催の子ども職場体験イベント「キッズジョブまつやま」には積極的に参加し、生活環境の保全事業の普及啓発に努めた。また、全国飲料水検査研究発表会では研究発表を行い、情報発信にも努めた。

①講演会・研修会の開催

実施日	主催者・開催場所	開催内容	参加者
該当なし			

②研修会・学習会等への講師派遣

実施日	研修会・講演会名称	演題名・内容	主催団体名会場等	派遣者	参加対象者
該当なし	—	—	—	—	—

③イベント等への参加による啓発活動

イベント名	主催者	実施日	実施場所	内容(参加者)
キッズジョブまつやま(子ども職場体験イベント)	松山市小中学校 PTA連合会 松山市文化・スポーツ振興財団 共催	12月8日	松山市総合 コミュニティセンター (松山市)	職業：臭気判定士 小学校の低学年、高学年別8名程度を対象とし、45分の授業でお仕事体験(5回)

④パンフレットの作成、配布

パンフレット等の名称	作成部数または配布部数(発行回数)
該当なし	

⑤各種学会等での情報発信

学会等名称	実施日	発表内容	主催団体	発表(報告)者
令和元年度 全国飲料水検査 研究発表会	11月11日 ～12日	ICP-MSの金属測定における検量線作成についての一考察	一般社団法人 全国給水衛生検査 協会	西村 龍一

2 外部精度管理

関係機関が実施する精度管理調査等を受け、また、各団体が主催する精度管理事業にも積極的に参加した。主なものは、次のとおりであった。

ア 全国関係（7件）

名 称	主 催 者	実施日	内 容
水道水質検査精度管理のための統一試料調査	厚生労働省	5月30日	臭素酸、トリクロエチレン
食品衛生外部精度管理調査	(一財)食品薬品安全センター	7月8日 7月22日 8月19日 9月17日 11月11日	一般細菌、ソルビン酸、栄養成分検査一斉分析（6種農薬中3種）、E. coli
環境測定分析統一精度管理調査	環境省	8月30日	土壌試料（Pb、As）模擬水質試料（イプロベンホス、フェニトチオン、シマジン、イプロチオン、フェノカブ、アセチムプリド、グリフォサート、クチアジソン、ジノフラテン、フィプロニル）
飲料水検査精度管理調査	(一社)全国給水衛生検査協会	10月28日	硬度、亜硝酸態窒素
簡易専用水道検査外部精度管理調査	(一社)全国給水衛生検査協会	11月8日	簡易専用水道検査における模擬事例に対する判定
第13回総合精度管理事業	(公社)日本作業環境測定協会	11月26日	デザイン、特定化学物質（弗化水素）
第13回技能試験(コントロールサーベイ)	ビーエルテック株式会社	12月3日	全窒素、全リン

イ 県内関係（2件）

名 称	主 催 者	実施日	内 容
水道水質検査外部精度管理	愛媛県衛生環境研究所	9月26日	マンガン及びその化合物、2-メチルイソボルネオール
水質分析精度管理調査	愛媛県衛生環境研究所	12月10日	COD、全窒素、全リン

3 研修 職員の資質の向上を図るため、各種の研修会・学会等に職員を派遣した。

ア 研修派遣（県外）では、24回34名を派遣した。主なものは次のとおりであった。

開催日	場 所	研修会・学会等	参加者
4.12	高松市	全国給水衛生検査協会西日本支部平成30年度第1回34条共同研究委員会	1
6.20～6.21	那覇市	全国給水衛生検査協会西日本支部平成31年度理事会・総会	3
6.28	東京都	全国給水衛生検査協会理事会・総会（法人化10周年及び設立33周年記念式典）	1

7. 9	東京都	令和元年度栄養成分研修会	1
8. 2	岡山市	新任者教育講座	1
8. 29~8. 30	徳島市	西日本地区食品衛生検査機関研究協議会 2019 年度 総会・研修会	3
9. 4~9. 6	千葉市	JASIS2019 元年度飲料水検査技術研修会ほか	2
10. 4~10. 5	高知市	第 27 回四国地区水道法 20 条・34 条研修会	2
10. 10~10. 11	東京都	令和元年度認定簡易専用水道検査員講習会	1
10. 18	東京都	2019 年度食品衛生検査セミナー	1
11. 11~11. 12	東京都	令和元年度全国飲料水検査研究発表会	1
11. 28~11. 29	東京都	第 40 回食品微生物学会学術総会	1
12. 19~12. 20	東京都	令和元年度簡易専用水道検査全国技術研究発表会	1
1. 17	東京都	令和元年度簡易専用水道認定検査員等更新講習会	2
1. 17	広島市	令和元年度検査精度管理業務研修会	2
2. 28	徳島市	令和元年度第 1 回 34 条共同研究委員会	1

イ 研修派遣（県内）では、2 回 3 名が参加した。

研修会・学会等	実施（開催）日	実施場所	参加者
石綿作業主任者講習会	12 月 5 日～6 日	愛媛県労働基準協会研修室	2
日本作業環境測定協会四国支部運営委員会	1 月 31 日	東京第一ホテル松山	1

ウ 協会内部における研修会は、2 回開催し、延べ 27 名が参加した。

開催日	行事等の内容	参加者
4 月 9 日	体積計を中心とした器具に関する講習	6
12 月 27 日	PMS・QMS研修会 「第 10 回サーベイランス審査の結果報告」	21

法人運営に関する事項

I 役員会に関する事項

1 監査

開催日 令和元年6月5日
場 所 愛媛県総合保健協会
監査事項 平成30年度会計及び会務の運営状況

2 理事会・評議員会

○第1回理事会

開催日 令和元年6月7日
場 所 愛媛県総合保健協会
出席者 理事 8名 監事 1名
決議事項 平成30年度事業報告及び計算書類等の承認について
令和元年度定時評議員会の招集について
令和元年度第2回理事会の招集について
報告事項 業務執行理事による職務の執行状況報告
平成30年度住民健診受診勧奨事業の結果について
ICTを活用した健診予約システムについて

○定時評議員会

開催日 令和元年6月27日
場 所 東京第一ホテル松山
出席者 評議員 5名
決議事項 平成30年度事業報告及び決算報告の承認について
監事の退任に伴う後任監事の選任について
任期満了に伴う全理事の改選について
報告事項 令和元年度事業計画及び収支予算について
業務執行理事による職務の執行状況の報告について
がん征圧全国大会（愛媛大会）の開催について
平成30年度特定健診受診勧奨事業の進捗状況について
ICTを活用した健診予約システムについて

○第2回理事会

開催日 令和元年6月27日
場 所 愛媛県総合保健協会
出席者 理事 8名
決議事項 代表理事の選定について
業務執行理事の選定について

○第3回理事会

開催日 令和元年12月5日
場 所 愛媛県総合保健協会
出席者 理事 8名
決議事項 退任に伴う監事候補者の選任について
報告事項 令和元年度上半期の職務執行状況の報告について
令和元年度特定健診受診勧奨事業協会実施分報告について

○臨時評議員会

開催日 令和元年12月12日
開催方法 決議の省略による
出席者 評議員 7名
決議事項 退任に伴う後任監事の選任について

○第4回理事会

開催日 令和2年3月24日
場 所 愛媛県総合保健協会
出席者 理事 8名 監事 2名
決議事項 令和2年度事業計画及び収支予算書の決定について
愛媛県総合保健協会諸規程の一部改正について
報告事項 前回理事会以降の事業等経過報告について
健診受診勧奨事業について
内閣府公益認定申請の報告について
WEB予約システムの状況について

II 表彰

表彰名	受章者氏名	受賞年月日	表彰行事名	受賞理由
日本対がん協会賞	仙波副理事長	元. 9. 13	がん征圧全国大会	がん検診の普及啓発活動に長年尽力
予防医学事業中央会学術賞(児玉賞)	益田裕子ほか	2. 2. 27	全国予防医学技術研究会	研究発表「自動分析機で経験した測定結果の気づきについて」が高く評価された

Ⅲ 主な固定資産購入

- (1) 建物付属設備
 - (健康)
 - ・3F 温水器取付洗面化粧台取替工事 1式
- (2) 車両運搬具
 - (健康)
 - ・業務車両 4台
 - (環境)
 - ・業務車両 2台
- (3) 器具備品
 - (健康)
 - ・メディカルバイオフリーザー 2台
 - ・眼底カメラ 2台
 - ・子宮検診台 2台
 - ・MG用画像処理ユニット 3台
 - ・コールセンター電話設備 1式
 - (環境)
 - ・環境検査システム用サーバー 1台
 - ・インキュベーター 2台
 - ・ホモジナイザー 1台
 - ・高圧蒸気滅菌器 1台
 - ・高流量定量ポンプ 1台
 - ・超音波洗浄装置 1台
- (4) 無形固定資産
 - (健康)
 - ・WEB予約システムソフトウェア 1式
 - (環境)
 - ・環境検査システムカスタマイズ 1式

令和元年度 財務諸表等

目 次

1. 貸借対照表	-----	1
2. 正味財産増減計算書	-----	2~3
3. 正味財産増減計算書内訳表	-----	4~5
4. 財務諸表に対する注記	-----	6~8
5. 附属明細書	-----	9
6. 財産目録	-----	10~12
7. 監査報告書		

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	2,428,576	2,073,298	355,278
普通預金	1,117,815,608	798,303,715	319,511,893
定期預金	1,100,000,000	1,100,000,000	0
未収金	343,445,329	370,031,070	△ 26,585,741
前払金	2,768,787	3,272,109	△ 503,322
立替金	1,483,600	1,483,600	0
仮払金	1,089,974	1,159,599	△ 69,625
貯蔵品	27,914,496	25,181,123	2,733,373
流動資産合計	2,596,946,370	2,301,504,514	295,441,856
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基金特定預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付積立預金	500,000,000	500,000,000	0
車両運搬具	2	2	0
特定資産合計	500,000,002	500,000,002	0
(3) その他固定資産			
土地	491,402,538	491,402,538	0
建物	561,778,481	583,545,443	△ 21,766,962
建物付属設備	93,618,160	104,187,112	△ 10,568,952
構築物	7,644,952	9,048,901	△ 1,403,949
車両運搬具	75,508,249	112,274,035	△ 36,765,786
器具備品	115,226,828	157,260,109	△ 42,033,281
一括償却資産	4,828,295	4,610,016	218,279
無形固定資産	93,306,265	155,149,753	△ 61,843,488
敷金	628,000	628,000	0
その他固定資産合計	1,443,941,768	1,618,105,907	△ 174,164,139
固定資産合計	2,043,941,770	2,218,105,909	△ 174,164,139
資産合計	4,640,888,140	4,519,610,423	121,277,717
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	184,416,808	291,808,262	△ 107,391,454
前受金	1,000,000	500,000	500,000
未払消費税	60,982,300	25,303,200	35,679,100
未払法人税等	12,102,600	4,022,300	8,080,300
預り金	11,807,537	13,418,824	△ 1,611,287
流動負債合計	270,309,245	335,052,586	△ 64,743,341
2. 固定負債			
退職給付引当金	655,749,529	628,069,269	27,680,260
固定負債合計	655,749,529	628,069,269	27,680,260
負債合計	926,058,774	963,121,855	△ 37,063,081
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	100,000,000	100,000,000	0
受贈車両運搬具	2	2	0
指定正味財産合計	100,000,002	100,000,002	0
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(2)	(2)	(0)
2. 一般正味財産	3,614,829,364	3,456,488,566	158,340,798
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	3,714,829,366	3,556,488,568	158,340,798
負債及び正味財産合計	4,640,888,140	4,519,610,423	121,277,717

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基金特定預金受取利息	10,027	10,054	△ 27
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	50,273	52,341	△ 2,068
③ 巡回健診事業収益			
巡回健診事業収益	2,127,482,460	2,089,319,081	38,163,379
④ 施設健診事業収益			
施設健診事業収益	530,505,612	475,585,917	54,919,695
⑤ 環境検査事業収益			
環境検査事業収益	331,079,814	318,856,436	12,223,378
⑥ 受取補助金等			
受取国庫補助金	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0
受取民間補助金	1,722,936	1,891,747	△ 168,811
受取地方公共団体助成金	0	0	0
受取民間助成金	200,000	50,000	150,000
受取補助金等合計	1,922,936	1,941,747	△ 18,811
⑦ 受取寄附金			
受取寄附金	1,641,763	1,620,209	21,554
特定資産振替額	0	0	0
受取寄附金合計	1,641,763	1,620,209	21,554
⑧ 雑収益			
受取利息	167,829	189,384	△ 21,555
雑収益	13,073,299	3,034,776	10,038,523
雑収益合計	13,241,128	3,224,160	10,016,968
経常収益計	3,005,934,013	2,890,609,945	115,324,068
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	22,474,157	22,355,750	118,407
給料手当	878,503,043	869,217,931	9,285,112
臨時雇賃金	416,172,466	422,744,750	△ 6,572,284
法定福利費	175,060,826	174,063,693	997,133
退職給付費用	63,611,140	76,153,111	△ 12,541,971
福利厚生費	15,512,259	15,360,533	151,726
医師報酬費	200,875,760	195,555,446	5,320,314
会議費	5,195,855	1,968,987	3,226,868
旅費交通費	48,086,990	45,519,529	2,567,461
通信運搬費	28,833,685	25,950,555	2,883,130
備消耗品費	53,294,788	41,307,822	11,986,966
医薬材料費	155,208,605	162,519,273	△ 7,310,668
修繕費	27,607,988	31,020,240	△ 3,412,252
保守管理費	70,869,022	70,709,663	159,359
印刷製本費	17,705,537	16,957,872	747,665
燃料費	20,833,029	21,497,921	△ 664,892
光熱水料費	28,586,070	31,439,345	△ 2,853,275
保険料	7,492,996	7,346,027	146,969
賃借料	17,982,548	15,320,167	2,662,381
委託費	118,437,577	119,549,033	△ 1,111,456
諸会費	802,950	723,300	79,650
租税公課	202,712,491	166,275,013	36,437,478
支払負担金	1,705,524	1,735,524	△ 30,000
支払寄附金	0	0	0
雑費	1,180,729	1,016,404	164,325
減価償却費	227,160,718	246,151,784	△ 18,991,066
固定資産除却損	250,850	2,045,299	△ 1,794,449
事業費合計	2,806,157,603	2,784,504,972	21,652,631

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管理費			
役員報酬	5,280,411	5,306,079	△ 25,668
職員給料手当	3,718,354	5,131,919	△ 1,413,565
臨時雇賃金	432,339	305,596	126,743
法定福利費	986,910	1,165,587	△ 178,677
退職給付費用	159,718	1,277,578	△ 1,117,860
福利厚生費	46,677	46,221	456
会議費	280,325	343,132	△ 62,807
旅費交通費	100,054	157,654	△ 57,600
通信運搬費	77,005	83,509	△ 6,504
備消耗品費	6,334	5,598	736
修繕費	115,687	75,281	40,406
保守管理費	13,338	14,604	△ 1,266
印刷製本費	1,474	1,763	△ 289
燃料費	27,469	31,839	△ 4,370
光熱水料費	26,502	29,414	△ 2,912
保険料	3,037	2,862	175
賃借料	0	0	0
委託費	1,849,404	1,749,586	99,818
諸会費	474,430	533,930	△ 59,500
租税公課	688,431	297,137	391,294
支払負担金	260,000	260,000	0
支払寄附金	14,682,000	6,313,000	8,369,000
雑費	20,370	19,974	396
減価償却費	82,743	125,593	△ 42,850
固定資産除却損	0	1,578	△ 1,578
管理費合計	29,333,012	23,279,434	6,053,578
経常費用計	2,835,490,615	2,807,784,406	27,706,209
当期経常増減額	170,443,398	82,825,539	87,617,859
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	170,443,398	82,825,539	87,617,859
法人税・住民税及び事業税	12,102,600	4,022,300	8,080,300
当期一般正味財産増減額	158,340,798	78,803,239	79,537,559
一般正味財産期首残高	3,456,488,566	3,377,685,327	78,803,239
一般正味財産期末残高	3,614,829,364	3,456,488,566	158,340,798
II 指定正味財産増減の部			
① 受取寄附金	1,641,763	1,620,209	21,554
② 基本財産運用益			
基本財産受取利息	10,027	10,054	△ 27
③ 受取補助金等			
受取国庫補助金	0	0	0
受取民間補助金	1,722,936	1,891,747	△ 168,811
④ 固定資産受贈益			
車両運搬具受贈益	0	0	0
⑤ 一般正味財産への振替額			
受取寄附金	△ 1,641,763	△ 1,620,209	△ 21,554
基本財産受取利息	△ 10,027	△ 10,054	27
受取国庫補助金	0	0	0
受取民間補助金	△ 1,722,936	△ 1,891,747	168,811
特定資産振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額合計	△ 3,374,726	△ 3,522,010	147,284
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,002	100,000,002	0
指定正味財産期末残高	100,000,002	100,000,002	0
III 正味財産期末残高	3,714,829,366	3,556,488,568	158,340,798

正味財産増減計算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
	健康づくり サポート事業	環境検査調査事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基金特定預金受取利息	0	0	10,027	10,027
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	40,218	10,055	0	50,273
③ 巡回健診事業収益				
巡回健診事業収益	2,127,482,460	0	0	2,127,482,460
④ 施設健診事業収益				
施設健診事業収益	530,505,612	0	0	530,505,612
⑤ 環境検査事業収益				
環境検査事業収益	0	331,079,814	0	331,079,814
⑥ 受取補助金等				
受取国庫補助金	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0
受取民間補助金	1,722,936	0	0	1,722,936
受取地方公共団体助成金	0	0	0	0
受取民間助成金	200,000	0	0	200,000
受取補助金等合計	1,922,936	0	0	1,922,936
⑦ 受取寄附金				
受取寄附金	1,641,763	0	0	1,641,763
特定資産振替額	0	0	0	0
受取寄附金合計	1,641,763	0	0	1,641,763
⑧ 雑収益				
受取利息	26,686	20,485	120,658	167,829
雑収益	12,205,446	813,537	54,316	13,073,299
雑収益合計	12,232,132	834,022	174,974	13,241,128
経常収益計	2,673,825,121	331,923,891	185,001	3,005,934,013
(2) 経常費用				
① 事業費				
役員報酬	20,616,744	1,857,413		22,474,157
給料手当	759,738,711	118,764,332		878,503,043
臨時雇賃金	401,912,097	14,260,369		416,172,466
法定福利費	155,792,370	19,268,456		175,060,826
退職給付費用	57,331,048	6,280,092		63,611,140
福利厚生費	13,427,362	2,084,897		15,512,259
医師報酬費	200,875,760	0		200,875,760
会議費	5,161,345	34,510		5,195,855
旅費交通費	40,960,006	7,126,984		48,086,990
通信運搬費	27,641,739	1,191,946		28,833,685
備消耗品費	50,623,474	2,671,314		53,294,788
医薬材料費	132,526,772	22,681,833		155,208,605
修繕費	24,484,085	3,123,903		27,607,988
保守管理費	68,552,464	2,316,558		70,869,022
印刷製本費	17,546,502	159,035		17,705,537
燃料費	18,956,287	1,876,742		20,833,029
光熱水料費	24,105,738	4,480,332		28,586,070
保険料	6,604,706	888,290		7,492,996
賃借料	17,385,498	597,050		17,982,548
委託費	107,401,283	11,036,294		118,437,577
諸会費	156,950	646,000		802,950
租税公課	179,830,342	22,882,149		202,712,491
支払負担金	1,705,524	0		1,705,524
支払寄附金	0	0		0
雑費	974,398	206,331		1,180,729
減価償却費	194,734,507	32,426,211		227,160,718
固定資産除却損	250,844	6		250,850
事業費合計	2,529,296,556	276,861,047		2,806,157,603

正味財産増減計算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
	健康づくり サポート事業	環境検査調査事業		
② 管理費				
役員報酬			5,280,411	5,280,411
職員給料手当			3,718,354	3,718,354
臨時雇賃金			432,339	432,339
法定福利費			986,910	986,910
退職給付費用			159,718	159,718
福利厚生費			46,677	46,677
会議費			280,325	280,325
旅費交通費			100,054	100,054
通信運搬費			77,005	77,005
備消耗品費			6,334	6,334
修繕費			115,687	115,687
保守管理費			13,338	13,338
印刷製本費			1,474	1,474
燃料費			27,469	27,469
光熱水料費			26,502	26,502
保険料			3,037	3,037
賃借料			0	0
委託費			1,849,404	1,849,404
諸会費			474,430	474,430
租税公課			688,431	688,431
支払負担金			260,000	260,000
支払寄附金			14,682,000	14,682,000
雑費			20,370	20,370
減価償却費			82,743	82,743
固定資産除却損			0	0
管理費合計			29,333,012	29,333,012
経常費用計	2,529,296,556	276,861,047	29,333,012	2,835,490,615
当期経常増減額	144,528,565	55,062,844	△ 29,148,011	170,443,398
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	0
固定資産売却益計	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	144,528,565	55,062,844	△ 29,148,011	170,443,398
他会計振替額	26,084,396	△ 26,084,396	0	0
法人税・住民税及び事業税	0	12,102,600	0	12,102,600
当期一般正味財産増減額	170,612,961	16,875,848	△ 29,148,011	158,340,798
一般正味財産期首残高	2,084,719,808	548,805,838	822,962,920	3,456,488,566
一般正味財産期末残高	2,255,332,769	565,681,686	793,814,909	3,614,829,364
II 指定正味財産増減の部				
① 受取寄附金	1,641,763	0	0	1,641,763
② 基本財産運用益				
基本財産受取利息	0	0	10,027	10,027
③ 受取補助金等				
受取国庫補助金	0	0	0	0
受取民間補助金	1,722,936	0	0	1,722,936
④ 固定資産受贈益				
車両運搬具受贈益	0	0	0	0
⑤ 一般正味財産への振替額				
受取寄附金	△ 1,641,763	0	0	△ 1,641,763
基本財産受取利息	0	0	△ 10,027	△ 10,027
受取国庫補助金	0	0	0	0
受取民間補助金	△ 1,722,936	0	0	△ 1,722,936
特定資産振替額	0	0	0	0
一般正味財産への振替額合計	△ 3,364,699	0	△ 10,027	△ 3,374,726
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	2	0	100,000,000	100,000,002
指定正味財産期末残高	2	0	100,000,000	100,000,002
III 正味財産期末残高	2,255,332,771	565,681,686	893,814,909	3,714,829,366

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価方法は、最終仕入原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ① 建物の減価償却は、定額法によっている。
- ② 建物付属設備及び構築物等の減価償却は、定率法によっている。(平成28年3月31日以前取得分)
建物付属設備及び構築物等の減価償却は、定額法によっている。(平成28年4月1日以後取得分)
- ③ 車両運搬具の減価償却は、定率法によっている。
- ④ 器具備品の減価償却は、定率法によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職金の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法による会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

会計方針の変更は無い。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基金特定預金	100,000,000	0	0	100,000,000
小計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
退職給付積立金	500,000,000	0	0	500,000,000
車両運搬具	2	0	0	2
小計	500,000,002	0	0	500,000,002
合計	600,000,002	0	0	600,000,002

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基金特定預金	100,000,000	100,000,000	0	-
小計	100,000,000	100,000,000	0	-
特定資産				
退職給付積立金	500,000,000	-	0	500,000,000
車両運搬具	2	2	0	-
小計	500,000,002	2	0	500,000,000
合計	600,000,002	100,000,002	0	500,000,000

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)			
科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産(車両運搬具)	31,801,001	31,800,999	2
土地	491,402,538	0	491,402,538
建物	898,357,156	336,578,675	561,778,481
建物付属設備	464,674,215	371,056,055	93,618,160
構築物等	51,867,178	44,222,226	7,644,952
車両運搬具	1,275,010,783	1,199,502,534	75,508,249
器具備品	1,030,776,348	915,549,520	115,226,828
一括償却資産	11,716,419	6,888,124	4,828,295
無形固定資産	411,162,398	317,856,133	93,306,265
敷金	628,000	-	628,000
合計	4,667,396,036	3,223,454,266	1,443,941,770

※ 特定資産(車両運搬具)は、結核予防会名義の胸部検診車(800A2356)受贈(名義変更)に伴い、結核予防会からの受贈額10,266,666円、自己負担金額(その他負担金)21,534,334円、計31,801,000円、及び日本対がん協会名義の胃部検診車(800A5113)受贈(名義変更)に伴い、日本対がん協会からの受贈額1円合計31,801,001円を計上。

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び該当債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び該当債権の当期末残高は、次のとおりである。

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	343,445,329	0	343,445,329
合計	343,445,329	0	343,445,329

9. 保証債務等の偶発債務

該当なし。

10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし。

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
受贈車両運搬具 胸部検診車 特定資産(車両運搬具)	公益財団法人 結核予防会	1	0	0	1	指定正味財産
胃部検診車 特定資産(車両運搬具)	公益財団法人 日本対がん協会	1	0	0	1	指定正味財産
補助金 マンモグラフィ検診車 国庫補助	愛媛県	2	0	1	1	一般正味財産
マンモグラフィ画像読 影支援システム国庫 補助	愛媛県	1	0	0	1	一般正味財産
マンモグラフィ画像読 影支援システム国庫 補助	愛媛県	1,217,738	0	608,869	608,869	一般正味財産
複十字シール募金 活動補助金	公益財団法人 結核予防会	0	1,722,936	1,722,936	0	一般正味財産
助成金 胃部DR検診車 整備事業	財団法人 日本宝くじ協会	1	0	0	1	一般正味財産
合 計		1,217,744	1,722,936	2,331,806	608,874	

※ 受贈車両運搬具は、財団法人JKA(旧 日本自転車振興会)から結核予防会及び日本対がん協会に検診車として補助され、名義変更に伴い受贈した。

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当なし。

13 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基金特定預金受取利息	10,027
受取寄付金	1,641,763
受取民間補助金	1,722,936
合 計	3,374,726

14. 関連当事者との取引内容

該当なし。

15. 重要な後発事象

該当なし。

16. その他

該当なし。

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記4・5に記載している。

2 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	628,069,269	54,976,423	27,296,163	0	655,749,529

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
現金	手元保管	運転資金として	2,428,576	
預金	普通預金	公益目的事業、収益事業等及び法人運営の運転資金として	1,117,815,608	
	伊予銀行 松山駅前支店		(845,800,002)	
	伊予銀行 新居浜支店		(2,385,807)	
	伊予銀行 和霊町支店		(8,218,457)	
	愛媛銀行 松山駅前支店		(88,563,538)	
	愛媛信用金庫 松山本町支店		(167,424,779)	
	ゆうちょ銀行 徳島貯金事務センター		(5,423,025)	
	定期預金	公益目的事業、収益事業等及び法人運営の運転資金として	1,100,000,000	
	伊予銀行 松山駅前支店		(750,000,000)	
	愛媛銀行 松山駅前支店		(100,000,000)	
	愛媛信用金庫 松山本町支店		(250,000,000)	
未収金	公益目的事業に係る未収金	健診・検査等の未収金として	295,971,170	
	収益事業等に係る未収金	環境検査等の未収金として	47,474,159	
前払金	前払金	自動車リサイクル料等	2,768,787	
立替金		職員奨学金等	1,483,600	
仮払金		職員所得税等	1,089,974	
棚卸資産	貯蔵品		27,914,496	
	通信運搬費(切手)		(1,679,771)	
	医薬材料費(資材、試薬等)		(12,540,364)	
	印刷製本費(印刷物)		(13,460,761)	
	賃借料(駐車券)		(232,800)	
	租税公課(印紙)		(800)	
流動資産合計			2,596,946,370	
(固定資産)				
基本財産	定期預金	伊予銀行松山駅前支店	運用益を法人運営の財源として使用している	100,000,000
特定資産	退職給付引当資産	定期預金 伊予銀行松山駅前支店	公益目的事業及び収益事業等に従事する職員の退職給付引当資産	500,000,000
	車輛運搬具	受贈車輛運搬具 検診車2台	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	2
その他	土地	松山市味酒町2-5-7 163.57㎡	自己所有の土地である。公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	842,338
の資産		松山市宮田町6-6 337.00㎡	自己所有の土地である。共有財産であるため、使用面積の割合により下記の通り按分している ・88.3%は、公益目的保有財産として公益目的事業に供している(期末帳簿価格58,278,000円) ・11.7%は、公益目的事業に必要な収益事業等に供している(期末帳簿価格7,722,000円)	66,000,000

財産目録

令和2年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
建物	松山市味酒町1-10-5 2,021.58㎡	自己所有の土地である。共有財産であるため、使用面積の割合により下記の通り按分している ・83.0%は、公益目的保有財産として公益目的事業に供している(期末帳簿価格278,968,561円) ・16.9%は、公益目的事業に必要な収益事業等に供している(期末帳簿価格56,802,032円) ・0.1%は、公益目的事業に必要な法人運営に供している(期末帳簿価格336,107円)	336,106,700	
	宇和島市朝日町3-515 973.75㎡	自己所有の土地である。公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	74,079,000	
	新居浜市田の上1丁目甲1057-3他 490.08㎡	自己所有の土地である。公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	14,374,500	
	松山市宮田町6-6	自己所有の建物である。共有財産であるため、使用面積の割合により下記の通り按分している ・88.3%は、公益目的保有財産として公益目的事業に供している(期末帳簿価格15,937,247円) ・11.7%は、公益目的事業に必要な収益事業等に供している(期末帳簿価格2,111,730円)	18,048,977	
	松山市味酒町1-10-5 (本部ビル)	自己所有の建物である。共有財産であるため、使用面積の割合により下記の通り按分している ・83.0%は、公益目的保有財産として公益目的事業に供している(期末帳簿価格374,820,455円) ・16.9%は、公益目的事業に必要な収益事業等に供している(期末帳簿価格76,318,864円) ・0.1%は、公益目的事業に必要な法人運営に供している(期末帳簿価格451,591円)	451,590,910	
建物付属設備	松山市味酒町1-10-5 (機能強化工事)	自己所有の建物である。公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している。(機能強化工事)	11,922,154	
	宇和島市朝日町3-515(南予支所)	自己所有の建物である。公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	72,112,953	
	新居浜市田の上1丁目甲1057-3他(東予支所)	自己所有の建物である。公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	8,103,487	
	本部ビル・南予支所・東予支所 光ケーブル敷設・LANケーブル敷設等	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	33,089,841	
	本部ビル配管設備等	公益目的事業に必要な収益事業等に供している	3,795,821	
	本部ビル電気設備等	共有財産であるため、使用面積の割合により下記の通り按分している ・83.0%は、公益目的保有財産として公益目的事業に供している(期末帳簿価格47,087,974円) ・16.9%は、公益目的事業に必要な収益事業等に供している(期末帳簿価格9,587,792円) ・0.1%は、公益目的事業に必要な法人運営に供している(期末帳簿価格56,732円)	56,732,498	
	構築物	味酒町2-5-7駐車場・南予支所駐車場等	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	3,865,924
		本部ビル駐車場等	共有財産であるため、使用面積の割合により下記の通り按分している ・83.0%は、公益目的保有財産として公益目的事業に供している(期末帳簿価格3,136,593円) ・16.9%は、公益目的事業に必要な収益事業等に供している(期末帳簿価格638,656円) ・0.1%は、公益目的事業に必要な法人運営に供している(期末帳簿価格3,779円)	3,779,028
	車輛運搬具	検診車31台、業務車両46台	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	72,922,164
		業務車両8台	公益目的事業に必要な収益事業等に供している	2,586,085
器具備品	放射線機器、分析装置他機材	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	68,627,011	
	分析装置他機材	公益目的事業に必要な収益事業等に供している	45,904,997	
	プロジェクター、シュレッダーほか	共有財産であるため、使用割合により下記の通り按分している ・78.5%は、公益目的保有財産として公益目的事業に供している(期末帳簿価格545,434円) ・11.5%は、公益目的事業に必要な収益事業等に供している(期末帳簿価格79,904円) ・10%は、公益目的事業に必要な法人運営に供している(期末帳簿価格69,482円)	694,820	
一括償却資産	パソコン、機材ほか	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	2,952,335	

財産目録

令和2年3月31日現在


(単位:円)


貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
無形固定資産		機材ほか	公益目的事業に必要な収益事業等に供している	1,875,960
		健診システムほか	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	87,990,257
		環境検査システム	公益目的事業に必要な収益事業等に供している	4,922,300
		会計システム	共有財産であるため、使用割合により下記の通り按分している	393,708
			・78.5%は、公益目的保有財産として公益目的事業に供している(期末帳簿価格309,061円) ・11.5%は、公益目的事業に必要な収益事業等に供している(期末帳簿価格45,276円) ・10%は、公益目的事業に必要な法人運営に供している(期末帳簿価格39,371円)	
敷金		駐車場敷金	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	579,250
		駐車場敷金	公益目的事業に必要な収益事業等に供している	48,750
固定資産合計				2,043,941,770
資産合計				4,640,888,140
(流動負債)				
未払金	未払金	未払金		184,416,808
		2,3月分未払金	公益目的事業に係る未払金	(173,059,338)
		2,3月分未払金	収益事業等に係る未払金	(9,528,824)
		2,3月分未払金	法人運営に係る未払金	(1,828,646)
前受金	前受金	公益目的事業に係る前受金	1,000,000	
未払消費税等			60,982,300	
未払法人税等			12,102,600	
預り金		源泉所得税、住民税他	11,807,537	
流動負債合計				270,309,245
(固定負債)				
	退職給付引当金		職員の期末退職金の要支給額に相当する金額	655,749,529
固定負債合計				655,749,529
負債合計				926,058,774
正味財産				3,714,829,366

監査報告書

令和2年6月5日

公益財団法人 愛媛県総合保健協会
理事長 久野 梧郎 殿

監事 紅田 和也 

監事 土居 忠博 

私は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会及び評議員会に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上